

# 競技注意事項（道南選手権）

- 1 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則に従って実施する。
- 2 競技場および練習について
  - ・競技開始前は本競技場を使用してよい。跳躍練習は競技用具の準備が完了している場合は、使用してよい。（競技役員の指示に従うこと）
  - ・投てきの練習は認めない。
  - ・競技開始20分前までとする。時刻までに後片付けをし、速やかに本競技場から退場する。
  - ・その他の練習は室内練習場または屋外走路を利用して行う。なお、走る方向は競技場と同じ反時計回りとする。
- 3 競技者の招集について
  - ・一時点呼（掲示板の○つけ）を行なうこと。2種目出場者は競技者係に申し出る。
  - ・招集完了時刻まで招集所（第4コーナー入口付近）で点呼を行う。
  - ・競技者係が誘導する。
  - ・招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなし処理する。
  - ・種目が重なっている選手は、競技者係に伝えるとともに、フィールド審判にもその旨を伝えること。
- 4 アスリートビブスについて
  - ・定められたアスリートビブスを背と胸につける。ただし、跳躍競技者は背または胸につけるだけでよい。
  - ・腰ナンバーカードはランニングパンツの右側後方につける。ただし、リレーは第4走者だけがつける。
  - ・招集開始時刻になったら、招集所の机の上から腰ナンバー（長距離は胸ナンバー）を取り、自ら取り付ける。
- 5 レーン順 競技順
  - ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
  - ・フィールド種目の試技数は、3本+トップエイト3本とする。※小学生は3本+トップエイト1本とする。
  - ・トラック競技で欠場者のレーンはそのままあける。
- 6 競技について
  - ・リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに提出する。
  - ・不正スタートは2024年度の競技規則によるが、小学生においては同一競技者の2回目を失格とする。
  - ・参加人数によってエントリー区分関係なく、同時スタートにする場合がある。
  - ・TR16. 5の取り扱いについて
    - ①小学生は「不適切行為」は適用せず注意を与えるものとする。
    - ②中学生以上の「不適切行為」は警告を与える。同じ競技会の同一種目で2度の規則違反があった場合は失格とする。ただし、それ以後の種目の出場は妨げない。
  - ・小学3年生以上は英語合図とし、小学2年生以下は日本語合図とする。
  - ・小学4年生以上短距離のスタート方法はクラウチングスタートとする。
  - ・事故防止のため、短距離走ではフィニッシュ後も自分のレーンに沿って走り通すように、また、リレーの場合、バトンを受け渡した後も自分のレーンに留まり、競技終了後退場する。なおレーン内に貼るマーカーは自チームで用意し、終わったら必ずはがす。

- ・小学生ジャベリックボール投の助走は15mとする。
- ・競技者に対する助力についてはTR6条に基づく。競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持・使用できない。
- ・2種目を兼ねる選手についてはトラック競技を優先する。
- ・走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。(天候などで変更することもある)

	試技	1	2	3	4	5	6	7	以降3cmずつ
5年男子	95	100	105	110	115	120	125	130	
5年女子	90	95	100	105	110	115	120	125	
6年男子	100	105	110	115	120	125	130	135	
6年女子	95	100	105	110	115	120	125	130	
中学1年男子	120	125	130	135	140	145	150		
中学男子	140	145	150	155	158	161	164		
中学1年女子	105	110	115	120	125	130	135		
中学女子	115	120	125	130	135	140	142		
男子	155	160	165	170	175	180	185	190	
女子	125	130	135	140	145	150	155		
中男棒高跳	180	190	200	220	240	260	270	280	
男子棒高跳	250	260	280	300	320	330	340	350	
女子棒高跳	180	190	200	220	240	260	270	280	

## 7 競技場の入退場について

- ・競技場はその競技をする選手と競技役員だけが入場することができる。それ以外の者は競技場に立ち入ることはできない。
- ・選手は本部前(表彰台付近)を通過することはできない。
- ・競技を終了した選手は次のように退場する。
  - ※トラック競技 フィニッシュ側ゲートより外に出て、スタート地点に戻り、衣服等を持ち帰る。
  - ※フィールド競技 審判員の指示に従い、安全に外側フィールドを通り自席に戻る。
  - ※リレー競技に出場している選手は最寄りの出口から退場する。

## 8 シューズについて

- ・シューズソールの厚さは競技規定内のものとする。
- ・スパイクシューズは全天候型スパイク及びピンを使用する。ピンの長さは9mm以下。ただし、走高跳は12mm以下とする。ニードルピンも使用可とする。

## 9 応急処置について

- ・医務室は本部内に設けてあり、応急処置までの用意がある。

## 10 その他

- ・競技終了後、または各自帰宅する時、その周辺を清掃する。(ゴミは持ち帰ること)なお、各日全ての競技終了後は、速やかに競技場から退場すること。※c-down 及びミーティング等については、競技場外でお願いします。
- ・落とし物については、競技会終了まで大会本部が預かり、それ以降は競技場事務所が預かる。